



IRCA 認定研修コースご紹介

弊社日本マネジメントシステムは、IRCA 認定の研修機関として、IRCA 認定各種研修コースを運営しております。

ISO27001 (ISMS) 認証は、日本全国で約 5,000 社が認証取得しており、その多くの企業が外部の ISMS 内部監査員研修や ISMS 主任審査員研修コースを受講し内部監査員資格、審査員資格を取得しております。

IRCA とは？

インターナショナル・レジスター・オブ・サーティフィケートド・オーディターズ (IRCA、The International Register of Certificated Auditors - 国際審査員登録機構) は世界最初にして最大のマネジメントシステム審査員の国際登録機関です。

IRCA は 2 つのサービスを提供しています。

1. マネジメントシステム審査員の登録
2. トレーニング提供機関の認定及びトレーニング提供機関が実施する審査員トレーニングコースの認定

IRCA 認定研修とは？

1984 年以来、1,000,000 人を超える人々が IRCA 認定の研修機関による IRCA 認定コースを受講・修了しています。

これらのコースは、IRCA 及びその他の審査員登録機関に登録申請をする受講生にとって必要なトレーニングと評価機能を提供します。IRCA は、要求される技術面及び教育訓練面での専門性が明らかであり、かつ審査員候補者のパフォーマンスを評価し試験する能力がある研修機関のみが認定されています。

取扱い研修コース

「IRCA 認定 ISMS ファンデーションコース」

「IRCA 認定 ISMS 内部監査員トレーニングコース」

IRCA 認定 ISMS 内部監査員 トレーニングコース

ISMS の内部監査員として必要な知識・スキルを学ぶことが可能です。

コースの概要と特徴

ISO/IEC 27001 の監査の基礎から学びたい方や、企業内で内部監査を実施する方を対象とした講習となります。

IRCA のコース基準に完全準拠

IRCA 認定を受けた日本で唯一の ISMS 内部監査員養成コースです。

e ラーニングによる効率的な学習

e ラーニングによる学習を併用することで、教室での学習を 1 日に短縮することが可能となりました。

講義要項

オープンコース

e ラーニング (IRCA 認定 ISMS ファンデーションコース) + 教室 1 日間 (8 時間)

50,000 円/人

インハウス (1 社向け)

e ラーニング (IRCA 認定 ISMS ファンデーションコース) + お客様指定教室 1 日間 (8 時間)

400,000 円/開催

講習に関するお問い合わせ・ご質問

株式会社日本マネジメントシステム

〒231-0002

神奈川県横浜市中区海岸通 3-9

TEL 045-319-6031

FAX 045-319-6032

E-mail info@j-ms.biz

IRCA 認定 ISMS 内部監査員トレーニングコース

概要

期待される成果と目標

このコースは事前の「eラーニング」と「教室での各セッション」で構成されています。

教室でのセッションの成果と目標は以下の通りとなります。

【eラーニングの振り返りセッション】

受講生の自己評価結果を管理するものであり、各人がeラーニングを終了する為には、メニューにある「理解度自己採点」が、全ての項目で5（7段階）を上回ることを条件としています。

受講生は、Webに掲載されたeラーニング教材を個人のアカウント（教室終了後アクセス権削除）で開き、マネジメントシステムの基礎知識を学び、其々の理解度をメニューの「理解度自己採点」に記載します。

「理解度自己採点」が、5に達しない場合は、そのセッションを繰り返し、また、チャット機能を利用し他社の意見を参照することで、理解の度合いを深めていきます。

全ての項目で5に達していない場合でも、その後の教室でのトレーニングに参加することは可能です。但し、eラーニングの結果は、教室の開始前に講師が確認し、教室でのセッションを通じて、学習目標達成の為に、受講生個々に対し何が必要かを判断するベースとして用います。

【計画書作成実習】

3.3.1 監査計画

- a) 適切な監査の範囲、目的、基準、時間及び資源を確立します。
- b) 上記について適切な現地監査計画を作成します。
- c) 監査のチェックリスト、サンプリングプラン及び様式等の必要な業務文書を作成します。

【審査実習】

3.3.2 監査の実施

- a) 初回会議を効果的に開催する能力を実証します。
- b) 被監査組織のニーズと期待を敏感に感じ取る感性を含め、監査中に被監査者と調和的な関係を築く能力を実証します。
- c) 効果的な監査インタビューを運営する能力を含め、監査のインタビューを効果的に取り運ぶ能力を実証します。
- d) 監査計画を実施、作業文書を利用し監査経路に従う能力を実証します。
- e) 適切なサンプリングによって監査のエビデンスを収集検証する能力を実証します。
- f) 監査の証拠を評価し、監査の目標、範囲および基準に対して適切な監査のアウトプットを生み出します。

【報告書作成実習】

3.3.3 監査の報告及び終了

- a) 監査所見について被監査者にフィードバックを行い、発生している問題があればそれらを解決します。
- b) 適合及び不適合を報告することを含め、監査報告書を作成し、提示します。

3.3.4 監査のフォローアップ

実施した活動の完了と有効性を検証する為に監査証拠を収集することを含め、監査のフォローアップ活動を行います。

テキスト／配布資料

1. メニュー及びeラーニングの振り返りセッション (ISMS IAC)
2. 計画書作成実習 (ISMS IAC)
「株式会社 IT 経営のプロファイル」、「審査計画テンプレート」
3. 審査実習 (ISMS IAC)
3. 審査実習の追加説明資料 (ISMS IAC)
4. 報告書作成実習 (ISMS IAC)

「報告書テンプレート」

Eラーニングについて

このeラーニングは、IRCA認定ISMSファンデーションコース及びISMS内部監査員トレーニングコースのために開発されたものです。このeラーニングで内部監査員としての基本的な知識を身につけ、その後、教室で監査全体の理解を促進するのが狙いです。

このeラーニングは、内部監査員に必要な基礎知識を学習する為に各ステージで達成すべき学習目標が設定されています。受講生は、その学習目標に合わせ、ご自身で学習サイクルを回すことになります。

ファンデーションコースでは、以下のセッションを各セッションの学習目標を意識し実施してください。

- 1stセッション：マネジメントシステムってなんだろう？
- 2ndセッション：マネジメントシステムってどんな要素で構成されているの？（前半）
- 3rdセッション：マネジメントシステムってどんな要素で構成されているの？（後半）
- 4thセッション：情報セキュリティマネジメントシステムの要求事項（リスクと機会）
- 5thセッション：情報セキュリティの管理策

全てのセッションの自己評価が5（／7段階中）以上になった時点でこのeラーニングは修了となります。

内部監査員トレーニングコースでは、以下のセッションを各セッションの学習目標を意識し実施してください。

- 1stセッション：マネジメントシステムってなんだろう？
- 2ndセッション：マネジメントシステムってどんな要素で構成されているの？（前半）
- 3rdセッション：マネジメントシステムってどんな要素で構成されているの？（後半）
- 4thセッション：情報セキュリティマネジメントシステムの要求事項（リスクと機会）
- 5thセッション：情報セキュリティの管理策
- 6thセッション：監査とは
- 7thセッション：計画・事前準備の重要性
- 8thセッション：監査テクニック
- 9thセッション：指摘事項の上手な出し方

- 10thセッション：報告の重要性

1st～5thまでのセッションは、ファンデーションコースの復習になりますが、内部監査員トレーニングコースの中では、その学習目標を意識し実施してください。

このeラーニングは、加速度学習法（アクセラレーティッドラーニング）を採用しています。

加速度学習法について

人は、七通りの方法で知識を得ることが知られています。コンピュータ上で展開できる方法は限られていますが、人が学習する際に活用する知性を多く取り入れられるよう工夫しました。

1. 言葉を通じて学ぶ（言語的知性の活用）
2. 数や図形、推理を通じて学ぶ（論理的・数学的知性の活用）
3. イメージや映像を通じて学ぶ（視覚的・空間的知性）
4. 身体を使った活動や動きの中で学ぶ（身体的・運動的知性）
5. 音やリズムに乗せて学ぶ（音楽的・リズム的知性）
6. 人とのコミュニケーションを通じて学ぶ（人間関係的知性）
7. 自己反省、メタ思考を通じて学ぶ（内的知性）

また、後日開催される教室での実践的なトレーニングとセットで監査員の必要な知識と技能を学ぶ構成になっています。